

14

子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減

目標

目標 1 育児についての相談相手がいない母親をなくす

目標 2 育児に参加する父親を増やす

目標 3 乳幼児健康診査に満足する人を増やす

目標 4 児童虐待による死亡をなくす

指標

		現 状	目 標
指標 1	育児についての相談相手がいる母親の割合	3か月児健診時 1歳6か月児健診時 3歳児健診時 99.0%※ 99.3%※ 99.1%※	100% 100% 100%
指標 2	育児に参加する父親の割合	3か月児健診時 1歳6か月児健診時 3歳児健診時 53.1%※ 48.4%※ 47.0%※	60% 55% 50%
指標 3	乳幼児健康診査に満足している人の割合	1歳6か月児健診時 3歳児健診時 79.4%※ 76.9%※	100% 100%
指標 4	児童虐待による死亡数ゼロ		

※「子育てに関するアンケート」(平成 23 年度)より

市民のとりくみ

□ 父親が育児に関わり、母親と協力して子育てをしましょう

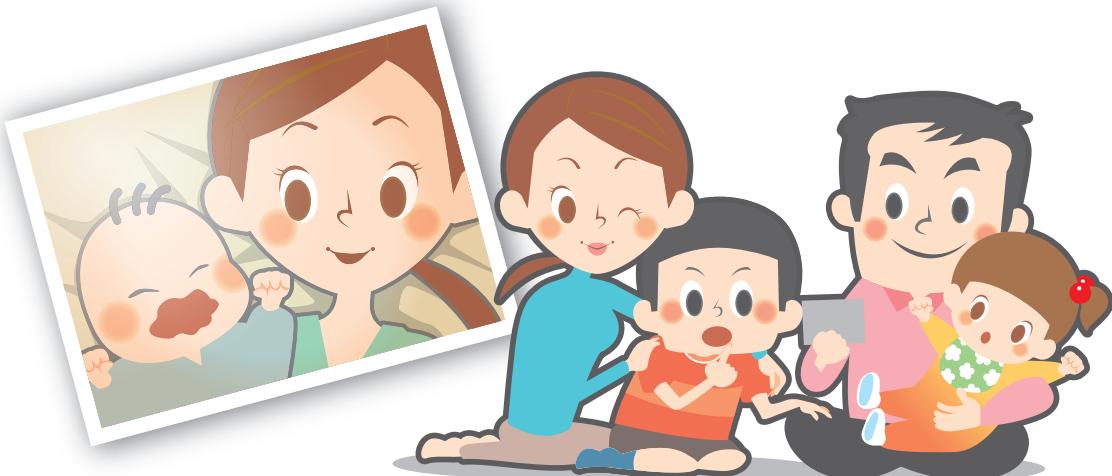
父親が育児に参加することは、子どもの健やかな発達を促し、母親の育児負担の軽減につながります。父親も楽しみながら子育てをし、積極的に育児に関わりましょう。

□ 地域全体で子育て家庭を見守り、必要に応じて支援しましょう

多様な家族形態があるなか、親を孤立させることなく社会全体で子育て家庭を支えましょう。子どもの健やかな発育と親の育児不安の軽減のため、家庭、地域等が連携して子育てしやすい環境づくりをすすめていきましょう。

□ 心配なときは相談をしましょう

乳幼児健康診査は子どもの健康状態を定期的に確認し、気になっていることを相談できる機会です。子どものこと、育児のことわからぬこと、不安なことがあれば、一人で悩まないで気軽に相談しましょう。



市のとりくみ

- 妊娠・出産・子育てに関する悩みや不安を軽減するため、妊娠届出時から乳幼児期までの連続した支援を行います。
- 妊婦とその家族が参加できる教室等を実施し、父親の主体的な育児参加を促進します。
- 育児支援に視点をおいた乳幼児健康診査を実施します。
- 子育て家庭を支援するため、地域及び関係機関との連携を推進します。

これまでの経過と課題

育児について相談相手のいる母親の割合

育児について相談相手のいる母親の割合は、3か月児健診時99.0%、1歳6か月児健診時99.3%、3歳児健診時99.1%であり、いずれの健診においても高い状況です。

相談相手の多くは家族や友人ですが、地域においても気軽に安心して相談できる環境づくりをすすめていくことが重要です。

父親の育児参加

妊娠期から父親の育児に関する意識を高めるため、子育て支援に関する教室への父親の参加を推進していくことが必要です。

近年は、「イクメン」と呼ばれる父親も増えており、楽しみながら子育てをし、積極的に育児に関わる父親がより増えていくことが望まれています。

乳幼児健康診査に満足している者の割合

乳幼児健康診査では、親が子どもの発育発達を理解する機会とするだけでなく、育児の交流の場として、話を聞いてもらえる安心の場として活用してもらえるよう努めています。今後も、子どもの健やかな発育発達を支援するとともに、育児支援に視点を置いた乳幼児健康診査の取り組みが必要です。

児童虐待による死亡数

児童虐待防止を啓発するオレンジリボンキャンペーンなどにより虐待防止に対する意識の醸成、相談・支援体制の充実が図られています。

虐待により死亡する子どもがなくなるよう、地域全体での見守り、妊娠期からの育児支援にむけた取り組みの継続が必要です。

健康コラム

児童虐待防止推進月間

毎年11月に児童虐待に対する社会的な関心を高め、シンボルマークである『オレンジリボン』を普及する取組みとして「オレンジリボンキャンペーン」を実施。『オレンジリボン』には、児童虐待を防止するというメッセージが込められています。



虐待を受けたと思われる子どもがいたら

ご自身が出産や子育てに悩んだら

子育てに悩む親がいたら

お近くの相談窓口へ連絡・相談ください

**あなたの連絡相談が子どもを守るとともに、
子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩！**